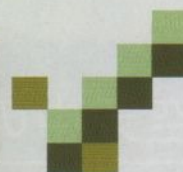


紫外線による促進耐候性試験

浮上式鉄道技術研究部



屋外使用機器の超促進耐候性試験が可能に

【概要】

長期間の屋外使用が前提となる機器（車両、電気、土木構造物等）や構成部材の適性を判断するため、耐候性（環境劣化特性）の評価が重要となります。本試験装置は定置にて対象機器の耐候性を短期間で評価することができる、超促進耐候性試験装置です。

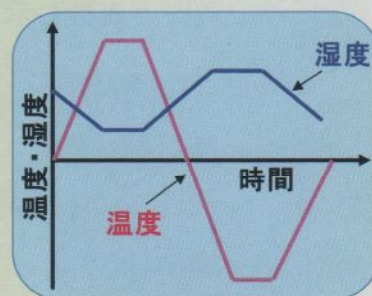
【特徴】

散水機能や紫外線照射機能を持つ大型恒温恒湿槽を有し、定値制御およびプログラム制御により、温度、湿度、散水（降雨）、紫外線の負荷を単独または複合的に加えることができ、様々な環境条件に対応可能な耐候性試験装置です。

光源にメタルハライドランプを使用し、紫外線領域を効率よく強化した超促進タイプの耐候性試験装置で、このような大型の恒温恒湿槽を有するものは、他に例を見ません。

超促進耐候性試験装置の主要諸元

恒温恒湿槽内寸法	W:2500mm×D:1800mm×H:1700mm
温度範囲	−40℃～90℃
湿度範囲	20%～95%(4℃以上)
散水能力	450kg/Hr(時間降雨量100mm相当)
紫外線光源	メタルハライドランプ12kW×4灯
紫外線強度	400W/m ² (照射距離600mm)



プログラム制御により任意のパターン設定が可能



超促進耐候性試験装置外観



紫外線照射状況（装置内）